



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月29日

上場会社名 ハウス食品株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 2810 URL <http://housefoods.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 浦上 博史
 問合せ先責任者（役職名） 広報・IR室長（氏名） 大澤 善行 (TEL) 03(5211)6039
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	54,107	△0.4	3,269	11.4	3,449	4.3	1,545	△7.0
22年3月期第1四半期	54,319	0.8	2,934	12.9	3,306	15.0	1,661	28.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	14.07	—
22年3月期第1四半期	15.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	230,851	182,765	79.0	1,660.80
22年3月期	231,927	182,628	78.6	1,660.57

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 182,301百万円 22年3月期 182,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	113,000	0.2	6,600	0.8	7,100	△0.4	3,900	1.9	35.53
通期	223,000	1.1	11,100	1.2	12,200	0.1	6,200	28.6	56.48

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

23年3月期1Q	110,878,734株	22年3月期	110,878,734株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	1,112,262株	22年3月期	1,112,105株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

23年3月期1Q	109,766,510株	22年3月期1Q	109,768,520株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- その他、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第1四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)	13
(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)	13
(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)	15
【第1四半期累計期間】 (参考) (個別)	15
5. 補足情報	17
(1) 業績の状況	17
(2) 連結損益計算書の状況	18
(3) 連結貸借対照表の状況	19
(4) 連結キャッシュ・フローの状況	19
(5) 通期目標	20
(6) 設備投資の状況	21
(7) 減価償却費の状況	21
(8) 主なグループ会社の状況	21
(9) 主要経営指標等	22

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国を中心とした輸出の増加などにより企業収益に改善が見られますものの、欧米などの海外景気の下振れリスクや雇用状況の悪化懸念は依然として残っており、景気の先行きは不透明な状況にありました。

生活関連分野では、個人消費には幾分持ち直しの兆しがありますが、デフレ基調が続くなかで商品の低価格化が進む厳しい環境下にあります。

このような状況のもと、当社グループは、第三次中期計画の2年目にあたる当連結会計年度を、中期計画の成否を決める重要な1年と位置づけ、「利益重視」「新しい需要の創造」の2つの施策を軸とした企業活動を推し進めております。

売上面におきましては、機能性飲料「ウコンの力」が順調に売上を拡大しましたほか、スパイス製品が堅調に推移しました。また、子会社ハウスウェルネスフーズ㈱の飲料製品が新製品を中心にご支持をいただきました。しかしながら、本年5月にミネラルウォーター事業を売却したことに伴い飲料製品が減収となりましたこと等から、当第1四半期連結累計期間の売上高は541億7百万円、前年同期比0.4%の減収となりました。

一方利益面では、広告費などのマーケティングコストの効果的な運用や継続的なコストダウンに取り組みましたこと等から、営業利益は32億69百万円、前年同期比11.4%の増益、経常利益は34億49百万円、前年同期比4.3%の増益となりました。四半期純利益は資産除去債務に関する会計基準等の適用に伴い特別損失が発生しましたこと等から、15億45百万円、前年同期比7.0%の減益となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントを従来の「食料品」「運送・倉庫業他」の2事業区分から、「香辛・調味加工食品事業」「健康食品事業」「海外事業」「運送事業他」の4事業区分に変更しております。

セグメントの業績は次の通りであります。

<香辛・調味加工食品事業>

カレー製品は、厳しい市場環境のなか、ルウ製品「バーモントカレー」「ジャワカレー」や、レトルト製品「咖喱屋カレー」が前年並みの売上を確保しましたものの、低価格帯製品の攻勢などにより「こくまるカレー」「ククレカレー」が低調に推移しました結果、前年実績を下回りました。

スパイス製品は、提案型の営業活動が奏功し売場拡大が図れましたことに加え、レギュラータイプの「ねりスパイス」が好調な売上を示し、増収となりました。

シチュー製品は、「シチューミクス」「北海道シチュー」が堅調に推移しましたが、「こくまるシチュー」「カップシチュー」が振るわず、減収となりました。

袋麺製品では、九州地区を中心に根強い人気の「うまかつちゃん」が堅調な伸びを示しました。

スナック製品は、ロングセラーの「とんがりコーン」が好調であったほか、おつまみスナック「パンチェッター」の新発売等も寄与し、前年実績を上回りました。

業務用製品は、ルウ・フレーク製品の売上が順調に伸長したこと等から、増収となりました。

以上の結果、香辛・調味加工食品事業の売上高は301億79百万円、前年同期比1.0%の減収、営業利益は28億36百万円、前年同期比12.3%の増益となりました。

<健康食品事業>

健康食品は、ウコンの健康成分であるクルクミンを増量した「ウコンのカスーパー」が定着したことに加え、ハウスウェルネスフーズ㈱の新製品「C1000ビタミンレモンコラーゲン」が順調に市場導入できたこと等から、前年実績を上回りました。

ダイレクト事業では、通販専用製品が低調に推移しましたが、食事代替製品とユーザーサポートがセットになったダイエットプログラム「ニュートリシステムJーダイエット」が本年5月に全国展開したことにより売上拡大に寄与しました。

以上の結果、健康食品事業の売上高は127億34百万円、前年同期比4.4%の増収、営業利益は3億41百万円、前年同期比50.7%の増益となりました。

<海外事業>

米国の豆腐事業は、新規顧客の開拓が進み順調に推移しました。また、中国のルウ製品事業は、引き続き普及拡大のための販促活動と販路拡大に努めましたことから、増収となりました。また、カレーレストラン事業につきましては、米国が前年実績を下回りましたが、中国・台湾・韓国で積極的な店舗展開に努めましたこと等から、増収となりました。

以上の結果、海外事業の売上高は29億36百万円、前年同期比11.7%の増収、営業利益は2億50百万円、前年同期比67.0%の増益となりました。

<運送事業他>

子会社ハウス物流サービス(株)の運送・倉庫事業は、ミネラルウォーター事業譲渡の影響を受けましたものの、物流拠点の整備やグループ外企業からの物流業務の受託を進め、前年実績を確保しました。また、子会社(株)デリカシェフの総菜事業は、サラダやパン製品が順調に推移し、増収となりました。しかしながら、当セグメントに含めております「六甲のおいしい水」は、事業譲渡により大幅な減収を余儀なくされました。

以上の結果、運送事業他の売上高は82億58百万円、前年同期比8.3%の減収、営業損失は1億44百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下の通りであります。

総資産は2,308億51百万円となり、前連結会計年度末に比べて10億76百万円の減少となりました。

流動資産は、税金や配当金の支払い等により現金及び預金が減少した一方、受取手形及び売掛金や譲渡性預金等の有価証券が増加したことなどから、15億24百万円増加の1,040億30百万円となりました。固定資産は、投資有価証券が増加した一方、ミネラルウォーター事業の譲渡により有形固定資産が減少したことや、のれんの償却により無形固定資産が減少したことなどから、26億円減少の1,268億20百万円となりました。

負債は480億86百万円となり、前連結会計年度末に比べて12億13百万円の減少となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金等が増加した一方、未払金や未払法人税等が減少したことなどから、12億28百万円減少の380億48百万円となりました。固定負債は、退職給付引当金や繰延税金負債が減少した一方、資産除去債務に関する会計基準等の適用に伴い資産除去債務が増加したことなどから、15百万円増加の100億38百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が減少した一方、四半期純利益により利益剰余金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べて1億37百万円増加の1,827億65百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の78.6%から79.0%となり、1株当たり純資産は1,660円57銭から1,660円80銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、平成22年5月10日発表の業績予想からの変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

税金費用の算定方法

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は3百万円、税金等調整前四半期純利益は180百万円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は279百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,059	17,914
受取手形及び売掛金	39,485	38,039
有価証券	33,699	31,803
商品及び製品	6,730	6,477
仕掛品	959	966
原材料及び貯蔵品	2,780	2,939
繰延税金資産	2,769	2,769
その他	1,556	1,604
貸倒引当金	△6	△3
流動資産合計	104,030	102,507
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,574	20,387
機械装置及び運搬具(純額)	7,884	9,000
土地	24,184	27,007
リース資産(純額)	4,824	4,876
建設仮勘定	858	624
その他(純額)	873	913
有形固定資産合計	57,196	62,808
無形固定資産		
のれん	5,161	6,190
ソフトウェア	2,737	2,694
ソフトウェア仮勘定	236	298
その他	229	229
無形固定資産合計	8,363	9,411
投資その他の資産		
投資有価証券	50,327	46,394
長期貸付金	279	280
繰延税金資産	368	365
長期預金	2,100	2,100
前払年金費用	5,732	5,581
その他	2,699	2,723
貸倒引当金	△242	△242
投資その他の資産合計	61,262	57,201
固定資産合計	126,820	129,420
資産合計	230,851	231,927

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,330	18,989
短期借入金	600	592
リース債務	359	353
未払金	10,328	12,505
未払法人税等	1,639	2,592
役員賞与引当金	20	77
債務保証損失引当金	92	92
その他	4,679	4,075
流動負債合計	38,048	39,276
固定負債		
リース債務	4,452	4,506
長期未払金	690	663
繰延税金負債	2,158	2,258
退職給付引当金	1,919	2,028
役員退職慰労引当金	—	26
資産除去債務	279	—
その他	539	542
固定負債合計	10,038	10,023
負債合計	48,086	49,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,868	23,868
利益剰余金	148,831	148,494
自己株式	△1,326	△1,326
株主資本合計	181,322	180,985
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,229	2,582
為替換算調整勘定	△1,250	△1,292
評価・換算差額等合計	978	1,290
少数株主持分	464	353
純資産合計	182,765	182,628
負債純資産合計	230,851	231,927

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	54,319	54,107
売上原価	29,343	28,900
売上総利益	24,977	25,207
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	3,051	2,490
運送費及び保管費	1,650	1,613
販売手数料	1,191	1,080
販売促進費	7,182	7,431
給料手当及び賞与	2,984	3,357
役員賞与引当金繰入額	19	19
減価償却費	284	309
のれん償却額	1,031	1,030
賃借料	334	337
試験研究費	938	920
その他	3,378	3,351
販売費及び一般管理費合計	22,043	21,938
営業利益	2,934	3,269
営業外収益		
受取利息	94	79
受取配当金	23	42
持分法による投資利益	65	87
為替差益	158	—
その他	49	59
営業外収益合計	390	268
営業外費用		
支払利息	11	9
為替差損	—	72
その他	7	8
営業外費用合計	18	89
経常利益	3,306	3,449

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	3	0
貸倒引当金戻入額	5	—
持分変動利益	—	51
その他	3	5
特別利益合計	11	56
特別損失		
固定資産売却損	—	9
固定資産除却損	31	12
会員権評価損	4	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	177
その他	6	23
特別損失合計	41	220
税金等調整前四半期純利益	3,275	3,284
法人税等	1,622	1,752
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,532
少数株主損失(△)	△9	△12
四半期純利益	1,661	1,545

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,275	3,284
減価償却費	1,448	1,390
のれん償却額	1,031	1,030
持分法による投資損益(△は益)	△65	△87
投資有価証券評価損益(△は益)	4	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	3
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△60	△58
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△24	△26
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△62	△109
受取利息及び受取配当金	△117	△122
支払利息	11	9
為替差損益(△は益)	23	72
固定資産売却損益(△は益)	△3	9
固定資産除却損	31	12
売上債権の増減額(△は増加)	△1,447	△1,438
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,220	△83
仕入債務の増減額(△は減少)	2,198	1,543
未払賞与の増減額(△は減少)	△6	△7
その他の資産の増減額(△は増加)	△375	△26
その他の負債の増減額(△は減少)	△1,580	△1,744
小計	3,060	3,653
利息及び配当金の受取額	306	333
利息の支払額	△16	△10
法人税等の支払額	△3,073	△2,586
営業活動によるキャッシュ・フロー	276	1,390
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300	△626
定期預金の払戻による収入	40	—
有価証券の売却による収入	2,400	1,600
有形固定資産の取得による支出	△1,047	△853
有形固定資産の売却による収入	20	0
無形固定資産の取得による支出	△211	△186
投資有価証券の取得による支出	△6	△5,233
投資有価証券の売却による収入	100	—
子会社出資金の取得による支出	—	△60
関係会社株式の取得による支出	—	△59
事業譲渡による収入	—	5,300
貸付けによる支出	△35	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	960	△118

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,119	123
短期借入金の返済による支出	△1,119	△123
リース債務の返済による支出	△86	△91
自己株式の取得による支出	△2	△0
配当金の支払額	△1,123	△1,113
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,211	△1,204
現金及び現金同等物に係る換算差額	139	△51
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	165	17
現金及び現金同等物の期首残高	41,680	44,570
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,845	44,587

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

（単位：百万円）

	食料品	運送・倉庫業他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	51,483	2,836	54,319	—	54,319
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	0	3,311	3,311	(3,311)	—
計	51,483	6,148	57,631	(3,311)	54,319
営業利益	3,908	111	4,019	(1,085)	2,934

(注) 1. 事業区分は、製品の種類・性質の類似性をもとに区分しております。

2. 各事業の主な製品

(1) 食料品 …………… 食品、飲料、レストラン

(2) 運送・倉庫業他 …… 運送・倉庫業等

3. すべての営業費用は各セグメントに配分されているため、配賦不能営業費用はありません。

4. 「その他の事業」として認識しております食品分析事業及び保険代理業等につきましては、その重要性が僅少でありますので、運送・倉庫業他に含めて記載しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の事業戦略においては、市場の伸びが見込める領域で、グループ成長を牽引する事業を『成長ドライバー』、強みを活かして収益の維持・拡大を図る事業を『収益ドライバー』と位置づけ、それぞれの事業領域の役割・機能を明確にしたうえで、新たな成長シナリオを構築しております。具体的には、「健康食品事業」・「ダイレクト（通販）事業」・「海外事業」を『成長ドライバー』とし、重点的に事業投資を行うことで事業の拡大をめざす一方、「香辛・調味加工食品事業」および「業務用事業」を『収益ドライバー』として、事業の深堀と進化を図っております。

従って、当社はこれら事業領域別のセグメントを基礎として、「香辛・調味加工食品事業」、「健康食品事業」、「海外事業」、「運送事業他」の4つを報告セグメントとしております。

「香辛・調味加工食品事業」は、国内における香辛・調味加工食品および業務用製品の製造販売を行っております。「健康食品事業」は、国内における健康食品の製造販売およびダイレクト（通販）事業を行っております。「海外事業」は、海外における豆腐等の製造販売およびレストラン経営ならびに香辛・調味加工食品等の輸出販売を行っております。「運送事業他」は、運送・倉庫業、総菜等の製造、

グループ内経理・人事・情報システム・庶務業務のシェアードサービス事業、食品分析事業等を行っております。なお、平成22年5月31日付で譲渡致しましたミネラルウォーター事業に関しましては、当連結事業年度開始日から譲渡までの期間における売上高および利益を「運送事業他」に含めておりません。

2. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	香辛・調味加工 食品事業	健康食品事業	海外事業	運送事業他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	30,179	12,734	2,936	8,258	54,107	—	54,107
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	—	3,190	3,190	△3,190	—
計	30,179	12,734	2,936	11,447	57,297	△3,190	54,107
営業利益又は営業損失	2,836	341	250	△144	3,283	△14	3,269

(注)営業利益又は営業損失の調整額△14百万円は、セグメント間取引消去額であります。

(参考)

「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）に準拠して作成した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	香辛・調味加工 食品事業	健康食品事業	海外事業	運送事業他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	30,481	12,199	2,629	9,010	54,319	—	54,319
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	—	3,287	3,287	△3,287	—
計	30,481	12,199	2,629	12,297	57,607	△3,287	54,319
営業利益	2,525	227	150	36	2,937	△3	2,934

(注)営業利益の調整額△3百万円は、セグメント間取引消去額であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(注) この四半期財務諸表 (個別) は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。

(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)

(単位: 百万円)

	当第1四半期 会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,285	15,488
受取手形	13	24
売掛金	29,439	30,043
有価証券	33,099	31,102
商品及び製品	5,393	4,991
仕掛品	864	867
原材料及び貯蔵品	1,873	1,984
繰延税金資産	1,983	1,982
その他	1,802	1,702
貸倒引当金	△6	△3
流動資産合計	87,744	88,182
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	11,297	13,040
構築物 (純額)	503	633
機械及び装置 (純額)	4,981	5,983
車両運搬具 (純額)	40	44
工具、器具及び備品 (純額)	473	518
土地	14,726	17,556
リース資産 (純額)	44	32
建設仮勘定	533	311
有形固定資産合計	32,598	38,116
無形固定資産		
借地権	6	6
商標権	7	7
電話加入権	44	45
施設利用権	0	0
ソフトウェア	2,182	2,221
ソフトウェア仮勘定	225	270
無形固定資産合計	2,463	2,549
投資その他の資産		
投資有価証券	45,947	42,148
関係会社株式	41,778	41,628
出資金	39	39
関係会社出資金	1,322	1,155
従業員に対する長期貸付金	6	7
関係会社長期貸付金	3,450	3,450
長期前払費用	207	216
差入保証金	1,144	1,147
長期預金	2,000	2,000
前払年金費用	5,732	5,581
その他	62	62
貸倒引当金	△207	△207
投資その他の資産合計	101,480	97,225
固定資産合計	136,541	137,890
資産合計	224,285	226,072

(単位：百万円)

	当第1四半期 会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	2,072	2,158
買掛金	11,507	10,803
関係会社短期借入金	6,577	7,311
リース債務	11	9
未払金	8,702	10,881
未払費用	1,193	1,896
未払法人税等	1,452	2,189
預り金	756	116
役員賞与引当金	15	58
債務保証損失引当金	92	92
その他	720	394
流動負債合計	33,098	35,908
固定負債		
リース債務	33	23
長期預り保証金	268	268
長期末払金	639	650
繰延税金負債	2,154	2,254
資産除去債務	51	—
固定負債合計	3,145	3,196
負債合計	36,242	39,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,948	9,948
資本剰余金		
資本準備金	23,815	23,815
資本剰余金合計	23,815	23,815
利益剰余金		
利益準備金	2,487	2,487
その他利益剰余金		
別途積立金	133,900	133,900
繰越利益剰余金	16,895	15,489
利益剰余金合計	153,282	151,876
自己株式	△1,326	△1,326
株主資本合計	185,720	184,314
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,323	2,655
評価・換算差額等合計	2,323	2,655
純資産合計	188,042	186,968
負債純資産合計	224,285	226,072

(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)

【第1四半期累計期間】 (参考) (個別)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	(参考)前事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
売上高	38,468	37,763	161,680
売上原価	18,614	17,785	77,530
売上総利益	19,854	19,979	84,150
販売費及び一般管理費			
広告宣伝費	2,568	2,192	10,919
運送費及び保管費	1,343	1,251	5,428
販売手数料	1,191	1,080	4,876
販売促進費	5,737	5,821	25,440
役員報酬	66	60	239
給料手当及び賞与	2,006	2,305	8,251
役員賞与引当金繰入額	16	15	58
退職給付費用	496	420	1,985
福利厚生費	403	437	1,802
旅費及び通信費	362	354	1,371
減価償却費	189	214	817
賃借料	288	276	1,144
試験研究費	776	776	3,312
調査費	201	191	857
その他	1,329	1,395	5,119
販売費及び一般管理費合計	16,971	16,786	71,618
営業利益	2,883	3,193	12,532
営業外収益			
受取利息	24	23	94
有価証券利息	80	68	274
受取配当金	615	987	1,020
受取賃貸料	53	58	223
その他	40	30	210
営業外収益合計	812	1,167	1,822
営業外費用			
支払利息	2	9	13
賃貸費用	22	20	77
為替差損	30	83	64
その他	1	1	14
営業外費用合計	55	113	168
経常利益	3,640	4,246	14,186

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	(参考)前事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
特別利益			
固定資産売却益	3	0	15
貸倒引当金戻入額	5	—	2
特別利益合計	8	0	17
特別損失			
固定資産売却損	—	9	18
固定資産除却損	19	3	188
投資有価証券評価損	—	0	799
会員権評価損	4	—	60
減損損失	—	—	345
債務保証損失引当金繰入額	—	—	92
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	44	—
その他	—	4	74
特別損失合計	23	60	1,576
税引前四半期(当期)純利益	3,625	4,186	12,627
法人税、住民税及び事業税	1,426	1,573	5,001
四半期(当期)純利益	2,199	2,613	7,626

5. 補足情報

(1) 業績の状況

【連結】

(単位：百万円)

	10.3期第1四半期		11.3期第1四半期		10.3期 通期		11.3期 通期目標	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	54,319	100.8%	54,107	99.6%	220,622	99.1%	223,000	101.1%
営業利益	2,934	112.9%	3,269	111.4%	10,964	107.5%	11,100	101.2%
経常利益	3,306	115.0%	3,449	104.3%	12,187	110.9%	12,200	100.1%
四半期(当期)純利益	1,661	128.3%	1,545	93.0%	4,820	102.0%	6,200	128.6%

	10.3期第1四半期		11.3期第1四半期		10.3期 通期		11.3期 通期目標	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
香辛食品類	16,002	29.5%	16,111	29.8%	62,171	28.2%	62,500	28.0%
加工食品類	5,842	10.8%	5,640	10.4%	33,275	15.1%	33,900	15.2%
調理済食品類	9,782	18.0%	9,650	17.8%	38,883	17.6%	40,600	18.2%
飲料・スナック類他	19,857	36.6%	19,560	36.2%	74,439	33.7%	72,600	32.6%
食料品	51,483	94.8%	50,960	94.2%	208,768	94.6%	209,600	94.0%
運送・倉庫業他	2,836	5.2%	3,147	5.8%	11,854	5.4%	13,400	6.0%

《事業セグメントの状況》

	10.3期第1四半期		11.3期第1四半期		10.3期 通期		11.3期 通期目標	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	30,481	56.1%	30,179	55.8%	128,688	58.3%	129,940	58.3%
健康食品事業	12,199	22.5%	12,734	23.5%	47,795	21.7%	52,628	23.6%
海外事業	2,629	4.8%	2,936	5.4%	10,004	4.5%	12,304	5.5%
運送事業他	9,010	16.6%	8,258	15.3%	34,135	15.5%	28,128	12.6%

【個別】

(単位：百万円)

	10.3期第1四半期		11.3期第1四半期		10.3期 通期		11.3期 通期目標	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	38,468	101.4%	37,763	98.2%	161,680	99.9%	162,000	100.2%
営業利益	2,883	105.7%	3,193	110.8%	12,532	104.9%	12,700	101.3%
経常利益	3,640	99.4%	4,246	116.7%	14,186	102.3%	14,500	102.2%
四半期(当期)純利益	2,199	102.3%	2,613	118.8%	7,626	102.7%	9,000	118.0%

	10.3期第1四半期		11.3期第1四半期		10.3期 通期		11.3期 通期目標	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
香辛食品類	15,860	41.2%	15,894	42.1%	61,305	37.9%	61,100	37.7%
加工食品類	5,842	15.2%	5,640	14.9%	33,275	20.6%	33,900	20.9%
調理済食品類	5,506	14.3%	5,268	14.0%	22,310	13.8%	23,600	14.6%
飲料・スナック類他	11,260	29.3%	10,962	29.0%	44,790	27.7%	43,400	26.8%

(2) 連結損益計算書の状況

① 連結損益計算書

(単位：百万円)

	10.3期第1四半期	11.3期第1四半期	対前年同期増減
売上高	54,319	54,107	△ 213
売上原価 (売上原価率)	29,343 (54.02%)	28,900 (53.41%)	△ 443
販売費・一般管理費	22,043	21,938	△ 105
広告宣伝費	3,051	2,490	△ 561
運送費及び保管費	1,650	1,613	△ 37
販売手数料	1,191	1,080	△ 112
販売促進費	7,182	7,431	249
人件費	4,337	4,737	401
試験研究費	938	920	△ 18
のれん償却額	1,031	1,030	△ 1
営業利益	2,934	3,269	335
営業外収益	390	268	△ 121
営業外費用	18	89	71
経常利益	3,306	3,449	143
特別利益	11	56	45
特別損失	41	220	179
税金等調整前四半期純利益	3,275	3,284	9
法人税等	1,622	1,752	130
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,532	—
少数株主利益(△は損失)	△ 9	△ 12	△ 4
四半期純利益	1,661	1,545	△ 117

② 営業外損益の主な増減内容

(単位：百万円)

	10.3期第1四半期	11.3期第1四半期	対前年同期増減
受取利息・有価証券利息	94	79	△ 15
受取配当金	23	42	19
持分法による投資利益	65	87	22
為替差益	158	—	△ 158
その他(賃貸物件収益等)	49	59	10
営業外収益計	390	268	△ 121
支払利息	11	9	△ 2
為替差損	—	72	72
その他(賃貸物件費用等)	7	8	1
営業外費用計	18	89	71

③ 特別損益の主な増減内容

(単位：百万円)

	10.3期第1四半期	11.3期第1四半期	対前年同期増減
固定資産売却益	3	0	△ 3
貸倒引当金戻入額	5	—	△ 5
持分変動利益	—	51	51
その他	3	5	2
特別利益計	11	56	45
固定資産売却損	—	9	9
固定資産除却損	31	12	△ 19
投資有価証券評価損	—	0	0
会員権評価損	4	—	△ 4
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	177	177
その他	6	22	16
特別損失計	41	220	179

④ 営業利益の主な増減要因（前年同期比較）

（単位：百万円）

マーケティングコスト（広告宣伝費、販売手数料、販売促進費合計）の減少	424
売上総利益の増加	230
運送費及び保管費の減少	37
試験研究費の減少	18
人件費（販売費・一般管理費）の増加	△ 401
その他の減少	27

（3）連結貸借対照表の状況

① 連結貸借対照表の主な増減内容

（単位：百万円）

	10.3期末		11.3期 第1四半期末		対前期末 増減 金額	主な増減内容
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	102,507	44.2%	104,030	45.1%	1,524	有価証券の増加 1,896 受取手形及び売掛金の増加 1,446 商品及び製品の増加 253 現金及び預金の減少 △1,855
固定資産	129,420	55.8%	126,820	54.9%	△ 2,600	土地の減少 △2,823 建物及び構築物の減少 △1,813 機械装置及び運搬具の減少 △1,116 のれんの減少 △1,029 投資有価証券の増加 3,933
資産合計	231,927	100.0%	230,851	100.0%	△ 1,076	
流動負債	39,276	16.9%	38,048	16.5%	△ 1,228	未払金の減少 △2,177 未払法人税等の減少 △953 支払手形及び買掛金の増加 1,341
固定負債	10,023	4.3%	10,038	4.3%	15	資産除去債務の増加 279 退職給付引当金の減少 △109 繰延税金負債の減少 △100
負債合計	49,299	21.3%	48,086	20.8%	△ 1,213	
評価・換算 差額等合計	1,290	0.6%	978	0.4%	△ 312	
少数株主持分	353	0.2%	464	0.2%	111	
純資産合計	182,628	78.7%	182,765	79.2%	137	
負債純資産合計	231,927	100.0%	230,851	100.0%	△ 1,076	

（4）連結キャッシュ・フローの状況

① 連結キャッシュ・フローの増減内容

（単位：百万円）

	10.3期第1四半期 累計期間	11.3期第1四半期 累計期間	対前年同期増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	276	1,390	1,114
投資活動によるキャッシュ・フロー	960	△ 118	△ 1,078
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,211	△ 1,204	6
現金及び現金同等物四半期末残高	41,845	44,587	2,743

(5) 通期目標

【連結】

(単位：百万円)

	10.3期	11.3期 目標	対前期増減
香辛食品類	62,171	62,500	329
加工食品類	33,275	33,900	625
調理済食品類	38,883	40,600	1,717
飲料・スナック類他	74,439	72,600	△ 1,839
運送・倉庫業他	11,854	13,400	1,546
売上高	220,622	223,000	2,378
売上原価	118,622	119,400	778
(売上原価率)	(53.77%)	(53.54%)	(△0.23%)
販売費・一般管理費	91,036	92,500	1,464
広告宣伝費	12,324	13,163	839
販売手数料	4,876	4,961	85
販売促進費	31,010	29,800	△ 1,211
営業利益	10,964	11,100	136
経常利益	12,187	12,200	13
当期純利益	4,820	6,200	1,380

《事業セグメントの状況》

	10.3期	11.3期 目標	対前期増減
香辛・調味加工食品事業	128,688	129,940	1,252
健康食品事業	47,795	52,628	4,833
海外事業	10,004	12,304	2,300
運送事業他	34,135	28,128	△ 6,007

【個別】

(単位：百万円)

	10.3期	11.3期 目標	対前期増減
香辛食品類	61,305	61,100	△ 205
加工食品類	33,275	33,900	625
調理済食品類	22,310	23,600	1,290
飲料・スナック類他	44,790	43,400	△ 1,390
売上高	161,680	162,000	320
売上原価	77,530	77,416	△ 114
(売上原価率)	(47.95%)	(47.79%)	(△0.16%)
販売費・一般管理費	71,618	71,884	266
広告宣伝費	10,919	11,500	581
販売手数料	4,876	4,961	85
販売促進費	25,440	23,968	△ 1,472
営業利益	12,532	12,700	168
経常利益	14,186	14,500	314
当期純利益	7,626	9,000	1,374

(6) 設備投資の状況

【連結】

(単位：百万円)

	10.3期第1四半期	11.3期第1四半期
設備投資	994	879
リース	123	101
合計	1,117	981

10.3期 通期	11.3期 通期目標
4,734	5,900
424	700
5,158	6,600

【個別】

(単位：百万円)

	10.3期第1四半期	11.3期第1四半期
設備投資	363	428
リース	35	61
合計	398	489

10.3期 通期	11.3期 通期目標
2,716	3,500
158	300
2,874	3,800

(7) 減価償却費の状況

【連結】

(単位：百万円)

	10.3期第1四半期	11.3期第1四半期
減価償却費	1,448	1,390
支払リース料	221	152
合計	1,669	1,543

10.3期 通期	11.3期 通期目標
6,102	6,000
824	700
6,926	6,700

【個別】

(単位：百万円)

	10.3期第1四半期	11.3期第1四半期
減価償却費	887	844
支払リース料	118	86
合計	1,004	931

10.3期 通期	11.3期 通期目標
3,771	3,500
405	300
4,176	3,800

※売買取引に係る方法に準じて資産計上を行っているリース物件の支払リース料相当は「減価償却費」に含めております。

(8) 主なグループ会社の状況

	10.3期第1四半期	11.3期第1四半期
連結子会社数	16社	16社
持分法適用関連会社数	4社	6社

10.3期
16社
5社

【11.3期第1四半期主要子会社の業績】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	四半期純利益	総資産	純資産
ハウスウェルネスフーズ(株)	8,997	760	755	15,158	6,194
ハウス物流サービス(株)	5,858	105	56	11,451	4,742
(株)デリカシェフ	3,176	△30	△136	3,552	667
サンハウス食品(株)	1,951	106	70	5,595	3,774
ハウスフーズアメリカCorp.	1,615	148	89	3,018	2,556

(9) 主要経営指標等

【連結】

	11.3期第1四半期	10.3期
一株当たり四半期(当期)純利益	14.07 円	43.91 円
一株当たり純資産	1,660.80 円	1,660.57 円
自己資本四半期(当期)純利益率	—	2.7 %
総資産経常利益率	—	5.3 %
売上高経常利益率	6.4 %	5.5 %
総資本回転率	—	0.96 回
流動比率	273.4 %	261.0 %
固定比率	69.6 %	71.0 %
負債比率	26.4 %	27.1 %
自己資本比率	79.0 %	78.6 %
従業員数	4,457 人	4,335 人

◎休職者・嘱託・パートを含みません。

【個別】

	11.3期第1四半期	10.3期
一株当たり四半期(当期)純利益	23.81 円	69.47 円
一株当たり純資産	1,713.11 円	1,703.33 円
自己資本四半期(当期)純利益率	—	4.2 %
総資産経常利益率	—	6.5 %
売上高経常利益率	11.2 %	8.8 %
総資本回転率	—	0.74 回
流動比率	265.1 %	245.6 %
固定比率	72.6 %	73.8 %
負債比率	19.3 %	20.9 %
自己資本比率	83.8 %	82.7 %
配当金(1株当たり)	—	22.00 円
配当性向	—	31.7 %
従業員数	2,222 人	2,152 人

◎休職者・嘱託・パートを含みません。